

## サマー子ども教室

**プログラム概要** : サマー子ども教室は、子育て支援の充実と、子どもが安心安全に過ごせる夏の居場所を確保することを目的に行われている。児童館は、地域における子どもの遊びや生活の援助や子育て支援を行い、子どもの心身の育成と情操をゆたかにすることを目的とする施設。

**実習先** : 保谷第一小学校、田無柳沢児童センター、ひばりが丘北児童センター

**実習先情報** : 保谷第一小学校は西部池袋線保谷駅を最寄りとする公立小学校。田無柳沢児童センター、ひばりが丘北児童センターはいずれも学童クラブを併設する西東京市の児童センター。

**参加人数** : 5名

**学部学科** : 幼児教育学幼児教育科、日本文学文化学科

**実習期間** : 令和4年8月8日～8月31日

**本学担当教員** : 本谷勇治

### ○はじめに

サマー子ども教室は、「すべての子どもたちの居場所づくり」をめざして開始された事業である。保谷第一小での開催は今年度が初めてとなった。

児童館は、児童に健全な遊びを与えて健康を増進する施設である。ひばりが丘北児童センター、田無柳沢児童センターはいずれも西東京市運営の施設である。

### ○実習内容

サマー子ども教室では教室準備、片付け、消毒作業、児童の見守りフォロー、実施指導。

・第1クール・第2クール

8月8日

チャレンジ工作「いろいろ染めよう」

絞り染めは、玉ねぎの皮とミョウバンと豆乳を使いハンカチを染める。

折り染めは、水彩絵の具を使い障子用の和紙を蛇腹折りにして、畳んで隅を染める。

8月9日

企業出前事業「おもちゃのエコを考えよう」

バンダイ株式会社の方のお話を聞いてクイズに答えて、実際に身近にある廃棄物でスタンプを製作した。

8月10日

チャレンジ工作「つくって飛ばそう」

牛乳パック発射台、割り箸鉄砲、紙コップUFO、ストロー飛行機の4つの工作を子どもたちが自分で作り、飛ばして遊んだ。



## ・第3クール

8月23日

8日と同様で、チャレンジ工作「いろいろ染めよう」を実施。

8月24日

ぼくらのまち発見隊！「農業って何？」

西東京市産業振興課の方にお越しいただき西東京の農業について学ばせてもらった。お話だけではなく実際に野菜の種や葉に触れクイズに挑戦した。

8月25日

10日と同様で、チャレンジ工作「つくって飛ばそう」を実施。

24日と25日の午前に学童の活動を体験した。

児童館では遊びの補助、片付け、消毒作業、事務作業。

主にテーブルゲームや塗り絵、お絵描き等を室内で行い、それに加えてひばりが丘北児童センターではドッチボール、田無柳沢児童センターではドッチボール、バレーボール、大縄跳び、バスケットボール、卓球、PK等の運動遊びを行った。

### ○提案したこと、発信したこと

8月25日サマー子ども教室「作って飛ばそう」の企画・運営を学生が行った。第1・2クールに行った同内容を振り返った上で、工作ブースの場所や人数配置を変更し、司会進行や工作の説明、タイムキープなども学生が担当した。

### ○経験したこと、学んだこと

サマー子ども教室・児童館実習・学童実習を通して沢山の子どもと関わった。トラブルが発生した際の即時的判断、子どもとの接し方や個別対応、職員の方々と連携するためのコミュニケーション、子どもを軸にした思考の展開を学び、子どもが楽しむためには、まず私たち学生が全力で楽しむことを心がけた。

### ○今後の展開、今後の学び、など

幼児教育学科は9月に幼稚園の1日実習がある。小学生の児童との交流がほとんどであった今回の活動と統合して、子どもの成長をより広く捉えられるようになりたい。日本文学文化学科はあまり子どもに関わる機会がないが、このフィールド・スタディーズを通して将来家庭や教育の手助けをする職業に興味をもった。

### ○まとめ

小学生の貴重な夏休みという瞬間に立ち会い、充実した時間を過ごすことができた。最後に、このプログラムを通して「人のために動く」ことの大変さと難しさを実感したと同時に、楽しさと達成感を得ることができた。

### ○担当教員コメント

子供たちが安心して安全に過ごせる居場所づくりを実際に行ったことが、大きな成果でした。その中で、職員の方々とどう連携すればよいのか、準備はいつまでにどの程度すればよいのか、子どもとのかかわり方等々、多くの学びがありました。

### ○実習先コメント

学生と初めて運営をしたため不安もあったが、最後まで問題なく進むことができた。学生同士で得意不得意を補い合う姿勢が子どもとの関わり方によく現れていた。学生自身で企画運営を行った経験は今後も活きると思う。「楽しい」という気持ちで何事にも参加し、他人に伝えていくことをこれからも大切にして欲しい。